

アスク《健康宣言！》地域健康づくりをサポート

○ショッピングモール アスク「地域の健康宣言！」

ショッピングセンターのコンセプトとして「アスク健康宣言」を打ち出し、町民の健康づくりをアスク専門店がサポートするという関係づくりを目指す。他の入居店舗にも「健康」をテーマとしたプログラムの作成を促し、アスク全体で顧客の健康づくりを「まち塾」を通して具現化していく。

夢ひろがる



○顧客の高齢化と周辺人口の減少への対応

アスクの周辺地域では、人口が減少し、かつ高齢化が進んでいる。商圈人口が減少することで、最寄品の顧客数も減少することは避けられない。縮小する市場のなかで、持続可能な地域経済を循環させるためには、アスクの存在が、地域住民にとっても不可欠なものであるように、より深い地域の関係を構築していくことが課題である。



○地域買物拠点としての公共的役割

アスクは、それぞれに顧客を抱えた零細事業者の集積により利便性を高める施設として役割を果たしている。地域に密着したショッピングセンターだからこそ、地域インフラとしての役割を果たすことができる。ひとつひとつの入居テナントが、顧客との関係を築きながらコミュニティを形成することによって、買物拠点としてだけでなく、町民の「健康づくり」や「生きがいつくりの場」、「コミュニティ拠点」などの多様な公共的役割を担うことが求められる。

○～健康づくりの地域サポーターとして～

周辺住民が、健康で生涯現役であれば、アスクの市場縮小を最小限に抑えることができるだけでなく、各店舗の売上向上につなげることも可能。そこで、地域のためにアスクの入居店舗が、それぞれの専門性を活かして「健康」をテーマに顧客へのサービスを提供することで、地域住民とアスクの新しい関係を築く。地域になくてはならない存在、すなわち「健康づくりのサポーター」として、新しいショッピングセンターの役割を果たしていくことが期待できる。

○行政との連携による「健康づくり」プロジェクトの始動

町民の健康づくりは、介護保険の問題を持ち出すまでもなく、行政課題でもある。アスクと行政が連携し、地区の住民がより健康に、いきいきと暮らしていくための取り組みを行っていく。具体的には、健康料理教室の継続や、お買い物時の情報提供、表示方法の検討、生涯学習の場とプログラムの共同開発など、町民の健康づくりに資するプロジェクトを総合的に行う。



○まち塾を開講する「Kinoshita 園芸・花里」とは

生花販売店。まちの花屋として、花束、フラワーアレンジメント、花を販売するほか、葬儀用の生花制作も行う。店主の木下氏は長年、消防署にも務めた経験があり、真面目で温厚なリーダーである。奥さんと店を切り盛りし、息子さんも店頭立つ。仲間と共に、花きの生産をしていたが、その生産が軌道に乗り出した頃に、生産者から小売になり、アスクに出店。まち塾を通して「コミュニティの場」を提供し、地元の人が育てた花苗を売る「おらちやの花市場」をオープンし、花を通して健康な地域づくりに貢献する。



【花里の店内】

○商店塾で提案する強み・魅力とは

木下氏は、花き生産者としての経験と花づくりに関し豊富な知識と経験を持つ。花を植え、育てて売るまでの一連の技術、土づくり、種まき、管理の仕方、出荷方法など。「おらちやの花市場」を通じ、花好きの人たちが生きがいをもって花を育てて売る楽しさを提供。



【打合せ風景】

○おらちやの花市場とは

高齢化した地域住民が、自分たちの手で種から花を育て、花好きな「おらちやの花市場」を通じて花づくりの体験・情報交換のコミュニケーションが活発に行われ、また育てた花も売ってもらい、市場を通じた「健康・いきがいつくり」や「こころの健康づくり」を進めていこうとする活動。

○店側のメリット

塾生を顧客ではなく、生産者としてとらえて、一緒に「おらちやの花市場」を盛り立てていく仲間を募ることで、花づくりのコミュニティをつくることができる。

○住民側のメリット

花づくりを通じて、生きがいを見つけ、いきいきと暮らすことができる。花苗を作るだけでなく売る場ができることによって、楽しみながら、地域経済へも貢献することができるようになる。まち塾で知り合う仲間づくり、生きがいつくりが、健康につながる。



【まち塾】平成27年2月16日（月）10:00～11:30

～作り・育て・売る～地域と一緒に花づくり～ ～Kinoshita 園芸・花里～

★【「Kinoshita 園芸・花里」まち塾で実施する具体的な概要】

【塾長】

「Kinoshita 園芸・花里」店長 木下正幸・昭子 氏

【まち塾テーマ】

～花づくり教室～おらちゃ花市場で、体も心も健康～

- ・おらちゃの花市場についての説明
- ・土づくり、種まき、管理の仕方、出荷
- ・土のpHチェック



【花里：木下 夫妻】

【参加者は】

- ・近隣住民（花づくりに興味がある人・育てている人、耕作放棄地など、花苗を育てる場所を持っている人）

【参加者へのメッセージは】

- ・花づくりの楽しさ
- ・花を植えて、育てて、売ること、楽しくて生きがいのある人生を花づくりを通して、心も体も健康に

【参加者に期待する次のアクションは何か】

- ・おらちゃの花市場に参画してもらう
- ・継続的に花づくり教室に通い、実際に花苗を育てる
- ・花苗の生産者として育つ

【まち塾を実施する花里の効果は】

- ・花苗の生産者ネットワーク、花づくりを楽しむコミュニティの拠点となる。
- ・新しいコミュニティの創出による顧客の拡大
- ・地域住民との新しい関係づくり（顧客ではなく生産者・仲間）による存在感の増大。

【アスクへの効果は】

- ・アスク内に「おらちゃの花市場」が設置されることにより、コミュニティの場が形成され、継続的にアスクを訪れる人々が増える。
- ・花づくりを通して、生きがいを感じる人が多くなり、生活の中での大切な場所としての認識が深まる。